

「富国有徳の理想郷—しずおか」を目指して・・・

第 20 号

県庁のしごとと改革ニュース



「速く」、「ムダなく」、「いい仕事」

24年度の「ひとり1改革運動」の取組成果を御紹介します！

静岡県では、職員一人ひとりが自ら考え、身近なところから改革・改善を実践する「ひとり1改革運動」に取り組んでいます。

この運動は平成10年度から始まり、これまでの取組件数は約16万5千件となり、経費の節減や時間の節約、県民サービスの向上に大きな成果を上げています。

平成24年度 15,063件の取組効果

55億4,172万円 + 13人 + 8,095件

節約と経済効果

15億9,209万円の事務経費を節減

- (例)・漁業取締船の中間検査項目の絞り込みによる経費の節減
- ・国土地理院との協定締結による業務の効率化とコストの節減

2万5,642時間の事務時間を節約（職員13人相当）

- (例) 登記所の地図作成に用地測量図を活用し作成期間を短縮

39億4,963万円の経済効果が発生

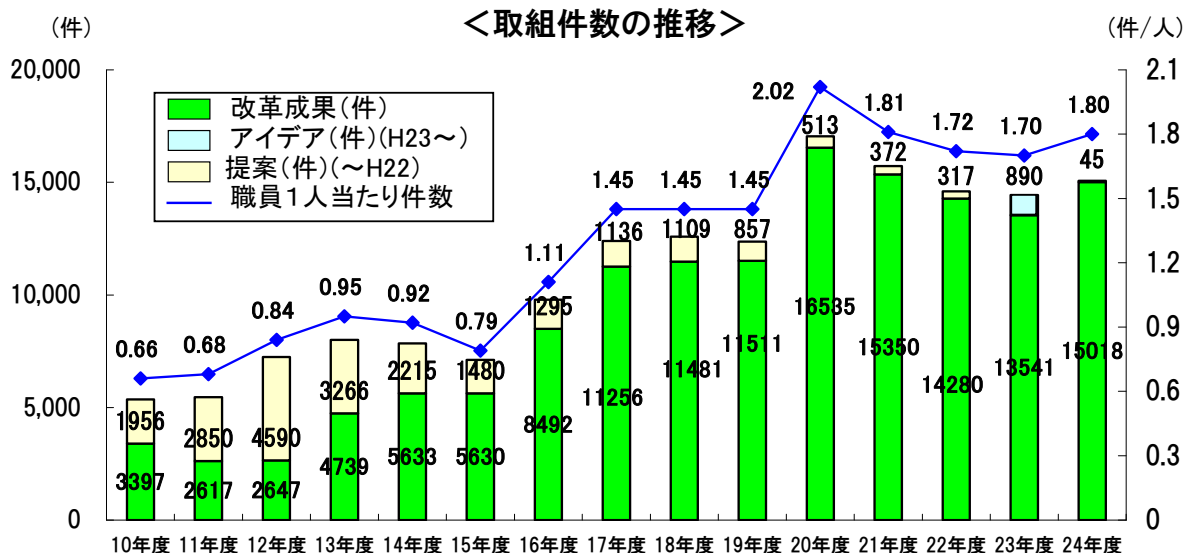
- (例) 地元市町や地域の団体と協働で新東名PAに出店し農芸品等の販路を拡大

の県民満足度向上

県民の皆様の満足度が向上した取組 8,095件

- (例)・県公金の納付から収納確認までの期間を短縮することにより県民の利便性を向上
- ・不要書籍等を活用して寄附する仕組みを提供しNPO活動基金への寄附の利便性を向上
- ・医療機関情報をデータベースに一元化し相談者へのスムーズな対応を実現

※ 効果額等は、取組成果のひとつの目安として、見込みも含めた各所属の自己申告値を集計したものです。



※以下の取組所属名は平成 24 年度のものです。

最優秀賞 <広報グランプリ大賞>

広告？広報です！1.6 億円の広報 ～○△×戦略に基づく健康寿命日本一の広報～

健康福祉部 健康増進課 長寿政策課

国による「健康寿命」の公表結果に基づく「健康寿命日本一」をきっかけに、県民の健康づくりへの関心や理解をさらに深めていこうと考えました。

そこで、「健康寿命日本一」の広報に際し、○の広報では途切れない循環する広報を、△の広報では多角的な視点による新聞・テレビ・雑誌等の媒体に合わせた広報を、×の広報では、ヒト（担当）モノ（資料）カネ（予算）がないとは言わないなど戦略的な広報を行いました。

その結果、新聞掲載 47 回、テレビ放映 17 回、雑誌掲載 10 回など、多くのマスメディアに取り上げられ、1.6 億円の広報効果を実現しました。



「第1回健康寿命をのぼそう！アワード」で、「厚生労働大臣 最優秀賞」を受賞

優秀賞 <安全・安心・危機管理大賞><会場奨励賞>

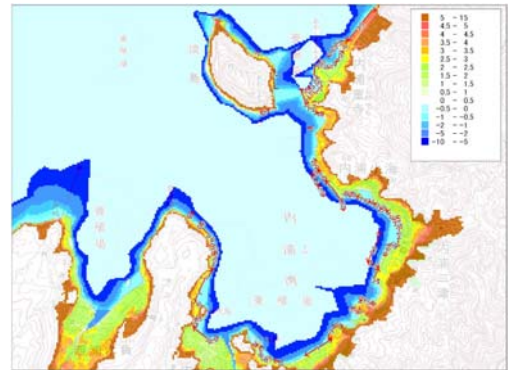
国土地理院との協定締結による防災力の向上と業務の効率化

交通基盤部 土木防災課 技術管理課

業務に使用する地図等の地理空間情報は個別に購入しており、大規模災害時に必要となる地図の作成や航空写真の撮影については、特に対応策を講じていませんでした。

そこで、全国に先駆けて国土地理院と相互情報交換と防災活動等に係る協定を締結して、具体的な活動を進めることにしました。

その結果、大規模災害時に有効な情報を迅速に受け取ることが可能になるとともに、地理空間情報の無償提供により、約 4,100 万円の経費節減や約 180 時間の計画策定時間の短縮を実現し、防災力の向上と業務の効率化に寄与しました。



地図情報の利用イメージ

優良賞 <予算節減努力大賞>

飲料用自動販売機の公募貸付による歳入確保

経営管理部 管財課

飲料用自動販売機については、これまで「使用許可」という考え方に基づいて設置しており、条例で決めた額を使用料として徴収していました。

そこで、「余裕スペースの有効活用策」として、考え方を「貸付け」に切り替え、設置業者が貸付料の価格を競う公募制度を導入しました。

その結果、前年度比 106 倍となる年間約 1 億 7 千万円の歳入増加につながりました。



公募制を導入した公共施設の自動販売機

<県民サービス向上大賞> 経営管理部税務課 企画広報部電子県庁課 出納局会計指導課
県公金の収納確認期間短縮による県民サービス向上とコスト削減

県民の方が銀行窓口で公金を納付した後、県が確認するまでに7営業日程度かかり、必要のない督促状の発行等によりトラブルが発生していました。

そこで、金融機関と協議を行い、県システムの改修をはじめ、銀行でも自動読取機器の導入や県とのデータ送受信システムの改修を行いました。

その結果、確認期間が最大3日間短縮し、年間120万円の経費節減、督促状の作成発行件数約2千件/月の削減効果がありました。



画像読取が可能となった県税等領収済通知書

<見える化・情報発信大賞> 東部健康福祉センター 廃棄物課
民間委託による不法投棄パトロールの効果的運用

不法投棄の監視のためのパトロールでは、特にパトロール場所を定めず、市町毎に広範囲にパトロールを行っていました。

そこで、過去3年間の不法投棄場所を電子マップに記入し、集中して発生している場所を特定したうえで、重点的に監視することにしました。

その結果、不法投棄量が去年同期比で6割減少しました。



不法投棄の現場

<仕事の進め方の見直し・IT活用大賞> 交通基盤部 農地計画課
登記所の地図作成に用地測量成果を活用！

登記所の公図は明治初期に作られており、多くが実態と異なるため、市町では正確な地図を整備するための地籍調査を行っていますが、費用や期間の面からなかなか進んでいませんでした。

そこで、道路の用地測量図に修正を加え、地籍調査に活用できるように国土調査法の指定を受けることで、登記所の地図として扱われることになりました。

その結果、地籍調査を実施した場合に比べ、10分の1の経費、8分の1の期間で地図を作成できるようになりました。



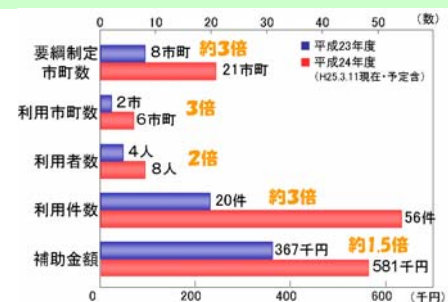
修正を加えた用地測量図

<規制緩和大賞> 健康福祉部 疾病対策課
難病患者介護家族リフレッシュ事業の制度改革

在宅で人工呼吸器を使用している特定疾患患者等の介護家族の負担軽減を目的に、在宅看護に対する補助事業を創設しましたが、利用件数が低迷していました。

そこで、利用者やサービス提供者が使いやすいよう、利用者や関係者への調査を基に、利用時間帯の拡大等の制度の見直しを行いました。

その結果、県、市町の大幅な財政負担の増加を伴うことなく利用者数、利用件数が増加しました。



利用者数、利用件数が増加

<みんなで取組大賞>

中部健康福祉センター 健康増進課

「ふじのくに「食の都」づくり」と連携・協働した食育の推進

～Win-Winの関係を視野に入れた連携・協働事業の展開～

食育事業は各部局が独立して行っており、関係各所が連携・協働して食育を推進する必要がありました。

そこで、「おいしい志太榛原いただきます！プロジェクト」を立ち上げ、関係各所が協力して、地場野菜の販売促進と野菜摂取量を増やす取組等を連携して展開しました。

その結果、関係者皆がメリットを感じ、効果的な食育を推進することができ、参加者からも好評を得ることができました。



<ユニバーサルデザイン大賞>

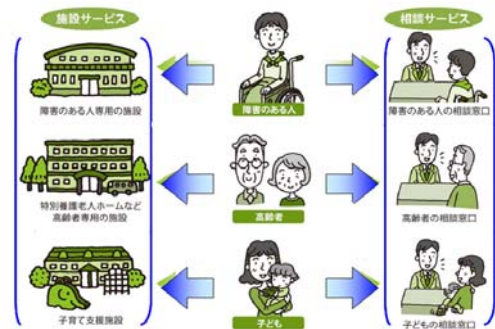
健康福祉部 長寿政策課

「ふじのくに型福祉サービス」の推進

高齢者、障害者、子どもは、別々の施設で、別々に福祉サービスを受けていました。

そこで、年齢や障害の有無にかかわらず、制度や窓口の垣根を越えた「ふじのくに型福祉サービス」の推進に取り組み、ワンストップでの相談受け付けや事例集の作成等を行いました。

その結果、高齢者施設で、子ども等も一緒に過ごせる共生型の施設が広まり、また、地域包括支援センターで幅広く相談ができる取り組みが始まりました。



ふじのくに型福祉サービス

<省エネルギー・節電大賞>

志太榛原農林事務所 家畜検査課 家畜衛生課

今年もやりました夏季節電対策

事務所では電力消費量の大きな機器が常時稼働し、空調設備も旧式で夏季に消費量が跳ね上がっていました。

そこで、機器の小まめな電源オンオフ、利用率の低い電灯の使用中止、緑のカーテンの設置、打ち水等の様々な対策を行うとともに、節電効果をグラフ化し情報を共有化しました。

その結果、昨年度以上の節電効果が得られ、昨年度比で年間 17.5%の節電を達成しました。



緑のカーテン

静岡県 経営管理部 行政改革課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 電話：054-221-2912 FAX：054-221-2750

E-mail gyoukaku@pref.shizuoka.lg.jp <http://www.pref.shizuoka.jp/soumu/so-030a/>

平成25年4月発行